



季節感

若々しく整然として、未来に向かって伸びて行く…そんな力強さと、清々しさを感じる。

『ホオノキの若葉』

平成22年6月1日
大野城市牛頸ダム沿い
大塚俊樹



熊洞居人独言

#50

kuma は今、映画「宝満山」の製作に係わっている。この映画は、あるテレビ局のカメラマンであった人物が制作したいと考え、宝満山の登山ルートや遺跡などに詳しい太宰府市文化財課の職員と共同で製作を思い立ったものである。彼ら二人と kuma の3人で製作委員会を立ち上げることになり、宝満山と関わりの深い人達に呼びかけて準備委員会を立ち上げたのがこの春である。

映画の内容は、現在の宝満山の自然景観、登山者の姿などを中心として、山内各所にある遺跡類、山麓の人々の山を利用した生活の姿、小学生～高校生の遠足の風景、山の神様を祀る山伏を始めとした僧侶や神職達の姿、春に咲く色々の花、秋に紅葉する色々な樹木など、現在の姿を中心とし、さらに、古代の宝満山が大宰府政庁の鬼門を護る神の山であったことから、山と人々との関わりの歴史も盛り込むことにしている。

江戸時代末期の1800年代初期に、奥村玉蘭によって描かれた「竈門山」の姿を見ると、宝満山は典型的な里山として描かれている。また、明治初期に発行された「福岡県地理全誌」の記載によると、宝満山は「春はサクラ、秋はモミジがきれいな山である」とされている。このことから、典型的な里山を代表する樹木であるヤマザクラやイロハモミジが全山を覆っていたことが判る。また、山の東斜面下部にある柚須原、本道寺、大石などの集落には「大行事」の石碑が今でも祀られている。また、大石の上部には「大行事原」という地名も残されている。大行事の石碑は、かつては茅場（ススキ草原）の中央に立てられていた。ここは、本格的に農作業を行っていた牛馬の安全な生育を祈願していた場所であった。ススキは牛馬を育てる餌や敷物として、さらに、農家を始め街中の家や神社・仏閣の茅葺き屋根の材料として使われていた。これらの利用開始は、古代にさかのぼると考えられる。このような姿も映画のテーマの一つと考えている。

★★★★2010年度定例総会★★★★

日時：6月27日

10時～12時 自然観察会

13時30分～15時30分(予定) 定例総会

場所：福岡県営春日公園(春日市)

※定例総会は旧公園管理センターの2階にて

◎自然観察会では、生きもののつながりについて、観察しつつ考えたいと計画しています。公園内で観察する事ができる生きもの達の『食べる食べられる』関係からつながりを、参加者みんなで考えたいと思っています。



～くすのきの樹皮に生えた苔の仲間と

アリ・カタツムリの這った痕(撮影 6/1 田字草)～

集合場所：春日公園内、旧公園管理センター玄関前

※小雨決行

【交通】○JR鹿児島線「春日」下車。徒歩15分

○西鉄大牟田線「春日原」下車、徒歩20分。又は駅前から西鉄バス6番系統<月の浦営業所行き>

「水道局前」下車すぐ。

※問い合わせ先 事務局 田村 耕作 (TEL 092-400-1765)

◆◆◆ 報告／水無鍾乳洞周辺での自然体験 ◆◆◆

田村耕作

NPO九州海外協力協会主催の『森と私たち』という行事に協力して、井原山中腹にある水無鍾乳洞の周辺で森と沢を歩きました。

このNPOは、青年海外協力隊事業の経験者が中心になり、九州圏内で国際協力の推進や子供達の健全な育成に貢献している団体です。福岡在住の留学生や研修生とその家族たちの交流の場にも成っています。

こういう団体が瑞梅寺川上流の森で、自然体験と参加者の交流の場をもうけ、そのお手伝いをしました。参加者は約40名程度、関係者は私も含め12名でした。

関係者で5/21の午後に踏査をし、自然体験の場所と手順の確認をしました。鍾乳洞から吹き出す風、沢の水、轉るミソサザイやヤブサメ、アサガラやヤブデマリの花、ラショウモンカズラやコンロンソウ、チャルメルソウやコクサギなど、紹介し伝えたい生きものもたくさんでした。

5/29当日は、晴れでした。森を歩くための注意を確認してから開始しました。私の班は、まず鍾乳洞から吹き出す風を感じてもらいました。1年中15℃前後の気温の風が出ています。夏冷たく、冬暖かい風を体験できることを伝えました。そばにはサワギクやコンロンソウの花や実、サイハイランの花は咲き始めていました。

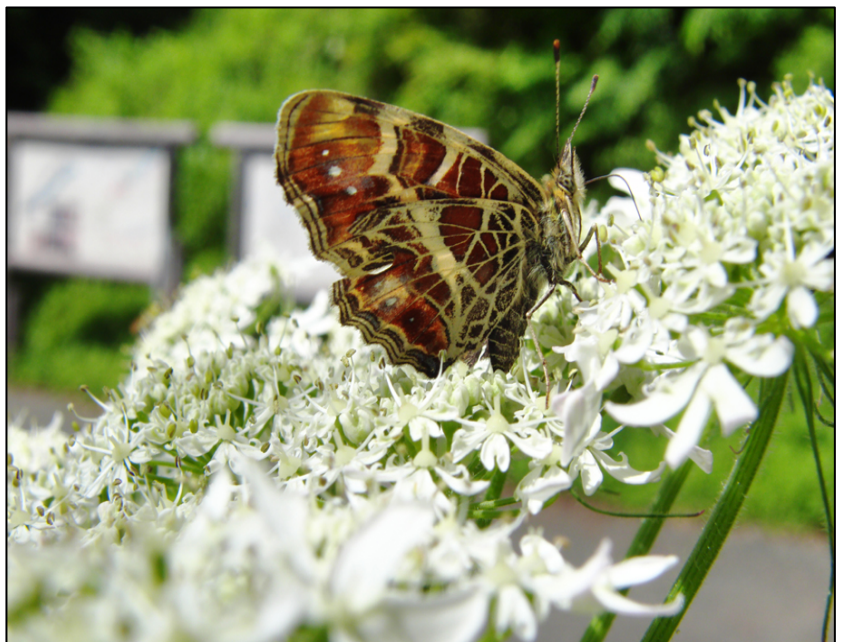
お昼は、それぞれの出身国の食べ物を持ち寄り、味を楽しみつつ頂きました。私の班はネパール、エジプトの人たちの料理で盛り上がりました。そばでは、ミソサザイが盛んに囀っていました。

午後からは、沢で水生昆虫の観察をしました。ヨコエビの仲間、トビケラの仲間、カゲロウの仲間が見つかりました。この水は飲めるほどの澄んだ沢の水でした。

時間まで楽しみ、最後に参加者一人一人印象に残った生きものや体験の感想をカードに書いてもらいました。これらの成果も踏まえ、生きものの食べる食べられる関係を図で示し、生物多様性の大事さを話しました。この森のすばらしさを体感してもらえたと思います。

事故もなく終わることができてほっとしました。

右の写真はハナウドの花で盛んに吸蜜していたサカハチチョウです。



～・～ 投稿 ～・～ 大牟田の中岡さんより、2件の投稿がありました



この写メは5月5日のお昼前に撮りました。
筋雲が虹色に染まっていました。
彩雲といいます。

新聞もラジオもテレビのニュース等を見ても具合が悪くなる話題ばかりでしたので、ふっと見上げてましたら、出逢いました。

☆☆今月の夜空☆☆

今月 26 日の午後7時過ぎから南東の空で部分月食があります。

☆かけ始め 午後7時16分頃
☆食の最大 午後8時38分頃
☆食の終わり 午後10時頃

日本野鳥の会福岡支部 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

6/20（日）7/18（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

6/26（土）7/24（土）
久末ダム探鳥会（福岡市）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7/4（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

7/10（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

7/11（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

7/6（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧公園管理センター前
問合せ：090-7390-3561（小野仁）

日本野鳥の会筑後支部 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

6/27（日）
濃施山公園（みやま町）
時 間：9:00
集 合：公園内すいせん橋
0944-58-1672（野田）



福岡植物友の会 主催

6/20（日）
立田152m 熊本市
ボロボロノキ・シャシヤンボなど
参加は有料 予約必要
092-575-3131（北野星二）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

7/3（土）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：小都市埋蔵文化財調査
センター前
時 間：9:30～12時30頃
問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料 100 円

三国丘陵 ですぐにヒット
します。



ムシクソハムシの産卵 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

6/26（土）
守る会定例会議
時 間：10:30～12:30
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/26（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会 主催

6/27（日）381 回例会
きのこ観察会ときのこ汁会
指導は金子周平先生です。
時 間：9:30～14:30
集 合：上津小学校運動場横
場 所：高良台松葉諏訪池周辺
参加費：300 円 先着 20 名
持ち物：筆記用具、長袖、長ズボン
長靴
問合せ：0942-46-8622（古賀）

福岡市油山自然観察の森 主催

※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

6/27（日）
親子で発見！
沢の生きものウォッチング

サワガニやアメンボ、カエルなど溪
流とそのまわりの生きものを観察
します。
集 合：自然観察センター前
時 間：10:00～13:00
対 象：小学生と保護者
申込み：往復はがき 6/19 必着
定 員：20 人

7/11（日）
夏の森・植物ウォッチング

春に続いて第2弾！植物の先生から油
山の樹木・草花の見方や楽しみ方を学び
ます。
集 合：自然観察センター前
時 間：9:30～12:30
対 象：一般
申込み：往復はがき 7/3 必着
定 員：20 人

問合せ：油山自然観察センター
参加費：100 円
〒811-1355
福岡市南区松原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00～16:30（月曜休館）





「春の相島」

5月8日に、鳥見を目的に相島にでかけてみました。

新宮港から1便の船に乗り相島についてみると、野鳥の声も少なく島は幾分ひっそりとした雰囲気でした。しばらく歩いて、今日はちょっと寂しそうだなぁと思っていたころ、ふと見上げた青空にトビではないタカ柱が！慌てて双眼鏡で確認すると、間違いなくハチクマの群れでした。

ゆっくりと旋回しながら高度を上げた後に、北東へと渡って行きました。行き先をどこに定めているのかな？無事にたどり着けますようにと思いながら、流れる姿を見送りました。

偶然の嬉しい出会いに、感動と感謝です。

ねこ



◆9:50~9:52 41羽+がタカ柱を作って群れで旋回後、北東方向へ渡る。その後も、10:28に1羽、13:30に1羽とぽつぽつと渡っていった。

◇◇◇ イベントお知らせ ☆ 保険・環境フェア2010 ◇◇◇

日時：平成22年6月26日(土曜日) 午前10時~午後4時

会場：福岡県保健環境研究所 太宰府市大字向佐野39

西鉄都府楼前駅より徒歩12分、JR水城駅より徒歩25分

※無料駐車場有り

保健や環境について考えてみませんか？小学校高学年から大人まで、ちょっとためになるお話しやイベントを準備してお待ちしています！（参加申込不要／無料）

☆☆☆ こんなイベントをやるよ！ ☆☆☆

♪ ミニ講演会 ♪ 電子顕微鏡で見るミクロの世界 ♪ あなたの手洗い、それで完ぺき？

♪ 水を調べてみよう！ ♪ 温度が見える不思議なカメラ ほか、色々あります！！

※問い合わせ先：福岡県保健環境研究所

TEL：092-921-9941

<http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/>

2010年5月 私のデジカメ日誌より 本のむし

5月1日

筑紫野市天拝坂

孫が近所で捕まえてきたツマキチョウ♀。サクラの咲く頃に飛ぶと聞いていたが、今年は厚くなったり寒くなったりで、チョウも困っているのでは・・・と心配だ。少し弱っていたのでとりあえずコデマリに乗せた。



5月17日 筑紫野市山家大根地山

昼真っから地面をのこのこ歩いていたオオオサムシ。濃紺の輝きが美しい。手塚さんも、この美しさに魅かれたのかな。



5月20日 筑紫野市本導寺宝満山

久しぶりに大宰府側から宝満山に登った。山頂近くの岩に地衣類のクロイボゴケがあった。

この日、小雨模様で、岩の向こうからセグロカッコウの声がしていた。



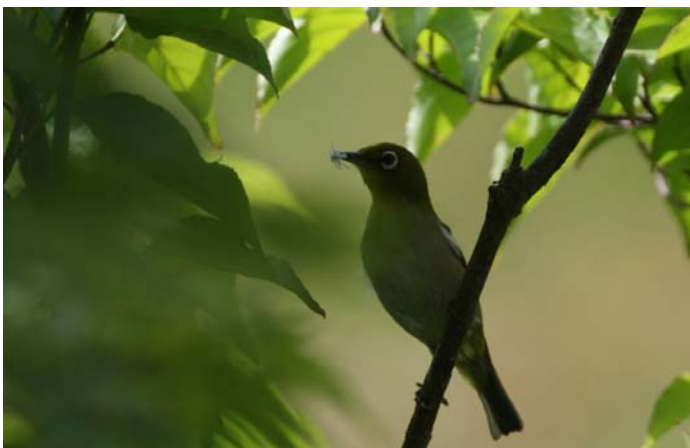
5月26日 福岡市中央区小笹市営植物園

クモのまどいと思われる子グモの塊を見た。何グモか良く解らない。卵のうを搜したがこれも良く解らない。文献によるとナガコガネグモはまどいを作らないらしい。「まどい」は「円居」で一家団欒のこととあった。触れたら、クモの子を散らした。



5月2日 筑紫野市天拝坂

庭に蛾が死んでいた。ダニが取り付いている。図鑑で調べると、フタツメオオシロヒメシャクによく似ている。ちょっと大きいようだが・・・？



5月7日 筑紫野市天拝坂

玄関先でメジロが何かをくわえていた。ふわふわした綿状の感じは、アオバハゴロモの幼虫だろうか？

☆☆☆これは何だろう！？☆☆☆

小さな葉っぱの付け根に付いていました。

種にはアリが好むエライオソームとよばれる白い種皮のようなものが付いています。また、全草にプロトピンを含み、誤食すると心臓麻痺など命にかかわるようです。

出題は「本のむし」でした。



ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000 円

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として

自然案内舎(有)クラブードにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2010年7月9日（金）午後6時より事務局で行います。7月号の原稿は、7/5（月）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげてください。経費節減のためです

宜しくお願いします。

・日本野鳥の会筑後 会報まめわり 第110号 10.06.01

※付録：「筑後の探鳥地」B5版60頁

・NPO法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 No. 158 2010年6月1日

・福岡植物友の会 会報 平成22年6月号 第51巻

・自然観察指導員熊本県連絡会 会報自然観察 第133号10. 6. 3

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2010年5/14定例発送会は、大塚俊樹・藤川渡・山本勝・山口蘭（飛び入り）・田村耕作が参加。6月の初め、百道浜小学校の5年生と学校の周りでフィールドビンゴをしながら自然を楽しみました。同じ仲間のツボミオオバコ・オオバコ・ヘラオオバコが異なる場所に生えていました。ユウゲシヨウ・コマツヨイグサ・オオマツヨイグサなども観察し、あっという間の案内でした。もうすこし時間があれば、あれもこれも体験してほしいと思いました。田字草

